研究テーマ

アクティブ・ラーニングを位置づけた子ども主体の学習の研究

～認め合い・高めあい・学び合う～とで、自己肯定感を高める～

一、日時 二〇一五年十月二十八日(水)五時間目

二、学級 四年二組

三、単元名 「安全マップを作ろう」

四、教材名 中核教材 「自分の安全は自分で守ろう」(学校図書・四年下)

補助教材 「発表用安全マップ」 教師作

五、単元観

これまで児童は、「ドリームツリー」を作って発表しよう」や日直スピーチなどで自分の身近なテーマや関心のあることから話題を決め、「話す」学習を行ってきた。また、他教科でも、ペアで自分の考えを話す活動を多く取っている。しかし、相手に分かるように考えを整理して話したり、グループで話し合っって意見をまとめたりする学習はまだ十分に行われていない。

また、日直スピーチでは、話し手は話の中心を考えずに時系列にそってだらだらと話したり、聞き手も話の中心を聞き取れず、話し手の話す意図と外れた質問をしたりしていた。

そこで、本単元では課題を明確にし、司会をたてて話の中心に気を付けながらグループで話し合う力をつけさせた。また、話し合うこととお互いの考えを認め合える関係づくりを進めていきたい。

中核教材「自分の安全は自分で守ろう」は、身近な話題で自分の生活に密着したテーマをもとに、解決したい課題をはつきりさせ、解決方法を話し合う教材である。通学路の危険な場所や安全な道などを調査したり、調査した場所についての安全な登下校の方法を話し合ったりする。また、話し合いをもとに安全マップを完成させ、自分たちのアイデアを他クラスや他学年に伝えていく教材である。この教材をもとに、一年生にとって、校内での危険とは何か、その課題解決の方法を考え、一年生に分かりやすく伝えていきたいと考える。

指導にあたっては、導入で、一年生で校内での安全に配慮すべき児童がいることやそのための手立てなどを紹介し、過ごし方によっては危険な場所が学校内に多く存在することに気づかせたい。また、一年生に学校内を安全に生活してもらおうという相手意識や目的意識を持って課題解決にのぞませたい。また、補助教材として、教師作の安全マップを用意し、書き方や表現の工夫について気づかせ、言語操作をしながら校内安全マップ作りに役立てたい。

話し合い活動においては、司会、記録、報告、タイムキーパーなどの役割を意識しながら、自分の意見を述べたり友だちの意見を聞いたりする力をつけさせたい。

六、テーマ実現のために

本単元では、課題設定を児童自らが立て、学習計画に沿って学習を進めていくことにより、児童が主体となると考えられる。また、話し合い活動において、役割分担を明確にし、自分の役割を果たすことにより、達成感を得られることが期待できる。さらに、丁寧にワークシートで自分の考えを作った上で話し合いを行わせ、全員参加の話し合いにすることで、主体性と自己肯定感の両方の高まりを目指していきたい。

自分の考えが行きつまった時にも、グループ内からアドバイスをもらったり、他者の意見を聞くことで自分の考え

を深めたりできるよう指導したい。この単元の学習を通して、お互いの考えを認め合い、自己肯定感を高めていきたい。

七、単元の目標

- 1 互いの考えの違いや共通点を考え、司会などの役割に応じて話し合うことができる。
(「話すこと・聞くこと」「オ」)
- 2 友だちの考えの中心に気を付けて聞き、質問したり自分の意見を述べたりすることができる。
(「話すこと・聞くこと」「エ」)
- 3 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら丁寧な言葉を用いながら話すことができる。
(「話すこと・聞くこと」「イ」)
- 4 関心のあることなどから話題を決め、調べたりメモしたりすることができる。
(「話すこと・聞くこと」「ア」)

八、評価規準

- 1 一年生に伝えたい「安全マップ」を作り、分かりやすく伝えようとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- 2 司会進行に沿って、お互いの考えの同じ点や違う点に気づきながら話し合っている。(話す・聞く能力)
- 3 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりしている。(話す・聞く能力)
- 4 目的に応じて理由や事例をあげながら筋道を立てて話している。(話す・聞く能力)
- 5 身の回りにある具体的な課題を見つけ、調べたことをメモに書いている。(話す・聞く能力)
- 6 接続語の働きを理解し、使っている。(言語についての知識・理解・技能)

十、本時の学習
1 指導目標

- ① 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会進行に沿って、役割を果たしながら話し合うことができる。
- ② テーマにそって班で話し合い、質問をしたり自分の考えを述べたりすることができる。

	<p>学習活動</p>	<p>○指導上の留意点・●評価規準・ ◇手立て</p>
<p>導入</p>	<p>○前時までの学習の確認をする。 ○本時の学習のめあてを確認する。</p>	<p>○学習計画を見て、前時や本時の学習を確認させる。</p>
	<p>司会進行にそって、安全マップに書くアイデアや伝え方を話し合い、決定しよう。</p>	<p>○学習計画から本時のめあてを考えさせる。</p>
<p>展開</p>	<p>○アイデアを書いた付せんを担当マップにはる。 ○各班で、司会進行にそってそれぞれの考えを出し、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>議題1 アイデアをまとめる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>議題2 伝え方を決める</p> </div> <p>○班の話し合いでの「今日の「話し合いピカイチさん」を書き、班の中で交流する。</p> <p>○いくつかの班の話し合いの進め方で、よかつたところについて全体で交流する。</p>	<p>○アイデアの数だけ付せんをはらせる。 ●司会進行にそって、友だちの考えと自分の考えを比較しながら、自分の意見を言ったり質問したりしている。 ◇自分の考えと相手の考えが同じか違うかに注目させ、相手の考えに賛成か反対かを考えさせる。</p>
<p>まとめ</p>		<p>○班の話し合いを振り返り、書かせる。 ◇班で出た、なるほどと思う意見を発表するように促す。 ○自分の班と比較して他の班のいいところを見つけてさせる。</p>

① 評価規準と評価方法

互いの考えの共通点や相違点を考え、司会進行などの役割を果たしながら進行に沿って話し合っている。

(発言・行動観察・記録分析)

② 判断基準

A 進行の方向性を考えて話し合いを進めている。

●話し合いの進行に目を向けて、提案、助言している。

「みんなは、どう思うの？」

「私もそう思います。それで、どうしてはいいのかな。」

「そのじゃあ、〇〇さんも言っていたから、まあめらねるな。」

B 司会進行に沿って友だちの考えと自分の考えを比較しながら、自分の意見や感想を言ったり質問をしたりしている。

「私も、〇〇さんの意見に賛成です。」

「〇〇さんは、どう言っていますか、それは、どうではないのですか。」

「その考えは、どう思いますか。」

「どうして、そののですか。」

③ Bに達していない場合の手立て

・自分の考えと相手の考えが同じか違つかに注目させ、相手の考えに賛成か反対かを考えさせる。

・これまでに学習したワークシートを見たり、話し合いのマニュアルを見たりするように声をかける。